

様式第1号

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第4回 所沢市上下水道事業運営審議会
開催日時	平成31年2月13日(水) 14時00分から15時00分まで
開催場所	上下水道局庁舎 3階 大会議室
出席者の氏名	天田 雅一、内田 喜久男、柿木 薫、門永 昌子、下田 正樹、 仲 志津江、馬場 正通、藤井 かおり、宝利 真弓 宮崎 親男、毛利 吉成、守谷 照雄、横溝 哲夫(50音順)
欠席者の氏名	藤原 明美、山崎 二三子(2名)
説明者の職・氏名	
議 題	(1)「第4期市街化調整区域下水道事業について(答申)」(案) について (2) 答申の市への提出について (3) その他
会 議 資 料	・平成30年度 第4回所沢市上下水道事業運営審議会 次第 ・平成30年度 所沢市上下水道事業運営審議会 委員名簿 ・第4回 所沢市上下水道事業運営審議会 会場図 ・第4期市街化調整区域下水道事業について(答申)(案) ・第4期市街化調整区域下水道事業に係る審議概要(案)

担 当 部 課 名	上下水道局	上下水道事業管理者	中村 俊明
	上下水道局	局長	玉川 明男
	総務課	課長	磯 稔
	経営課	課長	小池 純一
	〃	経営戦略担当主幹	細田 和彦
	窓口サービス課	課長	守谷 秀明
	下水道整備課	課長	根岸 清
		主査	井上 直樹
	下水道維持課	課長	吉田 進一
		主査	粕谷 憲之
		主査	井上 大輔
	経営課	副主幹	田島 幸雄
		主任	西久保 彩香
		主任	山本 浩平
上下水道局経営課 電話04(2921)1087			

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長挨拶 会長 下田正樹 委員</li> <li>・会議資料の確認</li> <li>・出席状況</li> <li>・会議の成立の報告</li> </ul> <p>2. 下田会長の議事により進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴希望者の確認</li> </ul> <p>3. 議事</p> <p>(1) 「第 4 期市街化調整区域下水道事業について（答申）」（案）について</p> <p>下田会長 答申（案）については事前に各委員に郵送され、内容をご確認いただき、ご意見等がある場合は事務局へ連絡することとしていました。</p> <p>経営課長 事務局に確認しますが、何かご意見等ありましたか。</p> <p>下田会長 特にございませんでした。</p> <p>下田会長 改めて、内容の説明を事務局にお願いしたいと思います。</p> <p>下水道維持課長 （「第 4 期市街化調整区域下水道事業について（答申）」（案）、「第 4 期市街化調整区域下水道事業に係る審議概要」（案）に基づいて説明）</p> <p>下田会長 只今の事務局の説明について、確認したい点がありましたらお願いします。特に意見がなければ、答申（案）をもって答申の完成として、市へ提出いたします。</p> <p>委員一同 ～ 一同了承 ～</p>

下田会長	<p>それでは本案を、答申といたします。 議事（１）については以上といたします。 続きまして、議事「（２）答申の市への提出について」、に移ります。</p> <p>（２）答申の市への提出について</p>
下田会長	<p>本来であれば答申は慣例的に会長と副会長が市長へ提出に伺うところですが、本日、本審議会において市に提出したいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>～ 一同了承 ～</p>
下田会長	<p>事務局から答申の提出の流れについて、説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>（答申の提出の流れについて説明）</p>
下田会長	<p>事務局の説明について、何か質問等ございますか。 よろしいでしょうか、それでは事務局は準備をお願いします。</p> <p>～ 事務局による答申の準備 ～</p>
経営課長	<p>所沢市上下水道事業運営審議会会長 下田正樹様より、所沢市長藤本正人の代理といたしまして、所沢市上下水道事業管理者 中村俊明に答申をお願いします。</p> <p>～ 答申の提出 ～</p>
経営課長	<p>答申の提出を受けまして、上下水道事業管理者 中村俊明より挨拶を申し上げます。</p>
上下水道事業管理者	<p>～ 審議会委員への挨拶 ～</p>
下田会長	<p>それでは、議事（２）については以上といたします。</p>

	<p>(3) その他</p>
下田会長	<p>議事「(3)その他」について、事務局から何かございますか。</p>
経営課長	<p>2点ございます。1点目は本審議会のあり方についてです。  本審議会は条例上、上下水道事業に係る何らかの課題、審議事項が発生した際に市長から諮問が行われ開催するものとなっています。今後は上下水道事業の計画の進捗管理等もお願いしたく、本審議会を常設化するための条例改正案を3月議会に提出します。また、併せて、特別な課題に対して専門的な知見から意見をいただくための臨時委員の設置ができるよう改正をしたいと考えております。  各委員には団体などを通じ、審議会委員としてご推薦をいただくことがあるかもしれませんが、本件についてご承知おきいただきたくお願いいたします。</p>
下田会長	<p>了解しました。ただ今の説明について、何か質問等ございますか。</p>
守谷委員	<p>例えば今回の受益者負担の関係はどこで審議して、臨時委員はどのようなことを審議するのですか。</p>
経営課長	<p>常設の審議会については、計画の進捗管理をお願いしたいと考えていますが、受益者負担金や水道料金の在り方のような特別な事項については、臨時委員も参加してのご審議をいただく予定です。</p>
毛利委員	<p>常設化は下水道だけではなく、上下水道として設置するのですか。</p>
経営課長	<p>常設化にあたっては水道、下水道の経営計画、どちらの進捗管理もお願いしたいと考えております。</p>
下田会長	<p>常設の審議会では水道、下水道の経営計画の進捗管理等を審議して、特別な課題等については、常設とは別の審議会、専門委員会を設置するのですか。</p>
経営課長	<p>常設の委員に臨時の委員を含め、一つの会議体として特別な事項についてご審議いただく予定です。</p>

下田会長	委員の設置については、この3月議会で決定するのですか。
経営課長	3月の条例改正は、臨時委員の設置を含めたものとなります。
毛利委員	既に委員会はあるのですか。また、そこに委員が入るのですか。また、進捗の報告等を定期的に、こういった形で行うのでしょうか。
経営課長	3月の条例改正では、これまで、特別な諮問事項に対してのみ設置されていた本上下水道運営審議会を常設化します。委員の任期につきましては1期2年で、2年間計画の進捗管理をお願いしたいと考えます。さらに、特別な課題が発生した際は、常設委員に加えて、特別な知見を有する臨時委員に加わっていただきます。そのため、常設委員には進捗管理の他、特別な部分の議論もしていただく予定でございます。
守谷委員	経営計画はだれが決定するのですか。また会議の形態は、例えば常設委員10名に、何かの際に臨時委員が5名加わる、そのような形と考えればよいのでしょうか。
経営課長	委員ご認識のとおり、臨時委員は5名程度以内を想定しています。また、本審議会の現在の委員数が15名ですので、臨時委員の人数を除いた10名を常設委員とすることを予定しています。経営計画については、上下水道事業それぞれで策定していますが、下水道事業経営計画については、平成29年度に当時の上下水道事業運営審議会にて審議いただいて決定したものです。
下田会長	他にございますか。 それでは、事務局よりもう一点説明をお願いします。
経営課長	2点目でございます。本審議会は、所沢市上下水道事業運営審議会条例第5条により、諮問に係る審議の終了までを委員の任期とするため、本日、答申の提出をもって各委員は解嘱となります。つきましては、本日が最後ですので、各委員より一言ずつご挨拶等をいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。
下田会長	委員の皆さん、宜しければご挨拶いただきたいと思っております。

	<p>～ 一同了承 ～</p> <p>(審議会各委員による挨拶)</p>
天田委員	<p>所沢市上下水道事業運営審議会に参加させていただき、ありがとうございました。</p>
柿木委員	<p>主婦として、所沢市民として、上下水道をいろいろな所で当然に使っていましたが、こういうところでご苦労されている方がいらっしゃる。その上で私達が安全に生活できていることを感じました。</p>
仲委員	<p>市民の方にとっての公平性、また行政の視点から見た公平性、様々な観点から下水道事業を考えさせていただきました。</p>
馬場委員	<p>今後、自分の仕事ですとか、そういったものに活かしていければと思います。</p>
宮崎委員	<p>4回の審議を通して受益者の負担の公平性、他の自治体との比較検証、単位負担金額の算出根拠から設定と、勉強になりました。一部には収益的収支とか資本的収支など、専門的な言葉が所々に出たので、全体像が分からない、理解できない一面もあつた気がしますが、審議内容の流れで決まっていく様子が認識できたことは、自分にとって大変多くの知識を得ることができました。</p>
毛利委員	<p>審議会はこれからも継続されていくとのことで、とても良いことだと思います。最近では水道の民営化などの目新しい話題が出ていますが、これからの所沢市の上下水道について、そういったことにも関心を持ちながら、わからないことがあつたら教えてもらおうと思います。</p>
守谷委員	<p>聞くところによれば水道事業、下水道事業それぞれ財政事情が厳しいのかなと思っております。答申も踏まえまして、益々の健全な財政運営を進めていただければと要望いたします。</p>
横溝委員	<p>今日、答申ができたということは、非常に良いことだと思っております。これは余談ですが、つい先日、三ヶ島と堀之内との境で下</p>

	<p>水道の工事が終わったのかなと思っております。ただ、糞谷を見ますと下水が全然入っていない。家庭から出る雑排水が、樽井戸川にそのまま流れているご家庭もあります。柳瀬の方は分かりませんが、三ヶ島の方はまだまだ下水が整備されていないところが多く、次の審議会の中で皆様にご尽力いただきまして、早く下水が通るようにしていただければと思います。</p>
門永委員	<p>所沢市は水洗化も進んでいますし、上下水道が発達して、とても良い環境の中に住んでいるのだなと感じます。それにこの会議に出ていなかったら、駅の前にあり気になっていたマンホール広告事業を知ることもなかったと思います。こういった努力をされていることを理解させていただきました。</p>
藤井委員	<p>今インフラが老朽化して問題になっていますけれども、この会議に参加させていただいて、インフラの整備に対する見方とか考え方を勉強させてもらった気がします。下水道の事業は赤字が少しあると伺ったのですが、今お話に出たようなマンホールの広告とかいろいろな知恵を出していただいて、これから上下水道ともに黒字化を目指していただきたいと思います。</p>
宝利委員	<p>第1回と第4回しか参加できなかったのですが、これからは下水道事業などに興味を持って過ごしていきたいと思います。</p>
内田副会長	<p>整備区域が違うため第3期と単純に比較するわけにはいきませんが、市民感覚と言いますか、どうしても市民の目は単位負担金額へいきます。そう思うと、これだけのアップで良いのかとの思いもありました。委員の皆様には対話やご意見をいただき、また自らの問題として対応していただきました。</p>
下田会長	<p>昨年、8月22日の第1回の開催から本日まで4回に亘り、委員の皆様には熱心なご議論、円滑な議事進行にご協力いただき、本日無事に答申がまとまったことに、改めて感謝を述べます。</p> <p>今回の所沢市上下水道事業運営審議会においては、所沢市長から諮問を受けまして、第4期市街化調整区域下水道整備事業における下水道整備計画区域の策定と、1㎡当たりの単位負担金額について、委員の皆様からいろいろな意見をいただいて議論を重ねて参りま</p>



	<p>した。答申の内容については第1次計画のうち、第1期から第3期までの整備区域以外の区域の、未整備区域の下水道整備を早く進めるということでございます。また、単位負担金額の設定については、従来の単位負担金額と比較し、事業費当たりの負担率の均衡化を図りつつ、これから整備を進める地域の住民の皆様に過度な負担や不公平感がないよう慎重に議論を進めた結果、本日の答申をもってご提言できたと考えております。</p> <p>今後は下水道施設も他の社会インフラと同様、建設の時代から維持管理の時代となりまして、昨年も西日本の豪雨災害や各地で地震等があり、被害が最小になるよう、国も施設の強靱化の計画を進めています。所沢市としても、適切な維持管理を図っていくうえで必要なコストがかかることを、市民の皆様にはわかりやすく説明することが、今後は重要だと考えています。</p>
下田会長	<p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>以上で「第4期市街化調整区域下水道事業について（答申）」の議事はすべて終了いたしました。改めて委員の皆様のご協力に感謝します。それでは事務局にお返しします。</p>
経営戦略担当主幹	<p>審議会の最終回でございますことから、上下水道局長 玉川 明男より御礼のご挨拶を申し上げます。</p>
上下水道局長	<p>（上下水道局長による挨拶）</p>
経営戦略担当主幹	<p>4. 閉会</p>
内田副会長	<p>閉会のご挨拶を内田副会長よりお願いいたします。</p> <p>本日は長時間に亘りまして、ご審議をいただきましてありがとうございました。以上をもちまして、平成30年度第4回所沢市上下水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。</p>